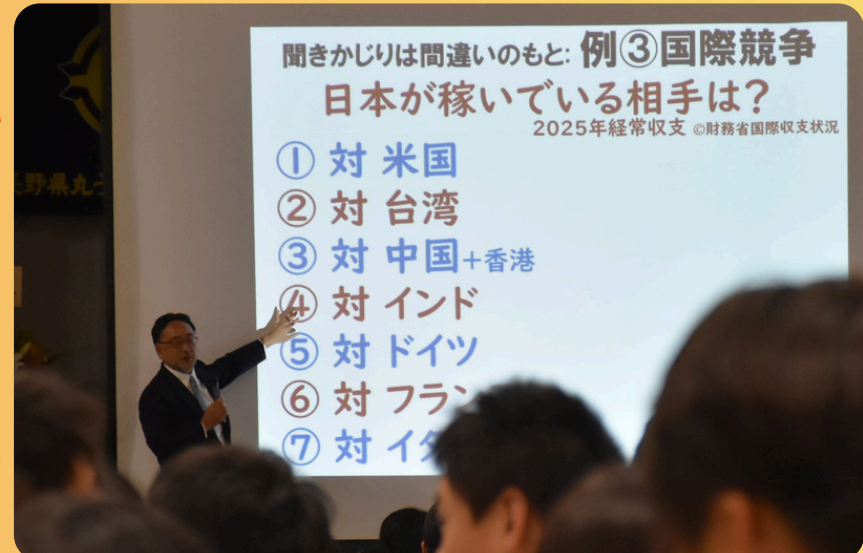




総合学科 20周年 記念式典



10月2日、かつての丸子実業高校から、丸子修学館高校へ、そして総合学科として歩んできたことを記念して、二つの講演を伺いました。

◆**13期生で、株式会社デサントでデザイナーとして活躍されている堤ヒトミさん**のお話
進路に迷っていた高校時代、陸上部のユニフォームのフィッティングしてもらったことをきっかけに、記録が伸びた経験が強く心に残っていたそうです。その経験を思い出し、大好きな美術やファッションを生かした仕事がしたいと考え、専門学校へ進学。現在は水着ブランド「arena（アリーナ）」のデザイナーです。とてもキュートで、そしてがんばり屋の卒業生から、生徒の皆さんへ「学校を大いに活用してください」という温かいメッセージをいただきました。自分の好きなことや高校時代のがんばった経験がつながって、将来につながったことをみせていただきました。

◆**藻谷浩介氏（株式会社日本総合研究所の主任研究員）**による、

「未来の日本で幸せに生きていくのはどんな人か？」というお話

聞きかじった情報やイメージに振り回されるのではなく、基本的なことを自分で確かめること。長寿化が進んだ今、長野県での暮らしは、畑仕事や手仕事、人とのつながりなど、豊かな経験を得る機会が多く、とても魅力的であること。また、人の「頭の良さ」は、机上の勉強だけではなく、感覚、運動、コミュニケーションなど、人にはさまざまな能力があり、それぞれ違った形で表れます。「**教育の使命は、各人が自分なりの個性や能力を前提に、実社会に居場所を持てるようにすること**」という言葉も心に残りました。迫力がありながら、生徒への深い敬意に満ちた講演でした。

生徒の感想より

★自分の得意なことから自分に合った仕事について成功しているのがとてもすごいと思った。自分も自分に合った職に就いてやろうと思った。

★自分がダメなやつだと思っても、必ず誰かの役に立つことができる仕事があること。（中略）仕事での自分でのマインドだったり、ニュースを見るときの見方が変わらと思った。

★目に見えること、私たちに伝わってくるものが真実とは限らないし、頭が良いことは一言では表せないと思った。

★点と点をつなぎ合わせることで将来につながることをわかった。まずは自分の得意なことや好きなことを探究活動などを通じて見極め、点と点がどうやったらつながるかを考えながら生活していきたいと思った。

今後の予定

10月19日(月)：
公開授業

・**部活動見学**
中学生と保護者の皆様へ
特色ある総合学科の授業をどうぞご覧ください。